

平成 21 年 度

後継者育成支援事業実施報告書

平成22年 1月

(財)鳥取県生活衛生営業指導センター

目 次

項 目	ページ
1 背景・目的	1
2 事業実施概要	1
3 事業実施方法の検討	1
4 事業実施状況	2
5 事業関係者の意見	4
6 評 価	5
7 課 題	6
参考資料	9
鳥取県理容生活衛生同業組合の事業資料	10
鳥取理容美容高等専修学校の理容科卒業生の推移	18

生衛業界は家族経営を中心とする小規模な経営形態が多数を占めており、平成18年度に実施した鳥取県の各生活衛生同業組合に対する意識調査の結果、約6割の組合が高齢化及び後継者難を喫緊の課題として挙げている。

一方、最近の高卒者の就職内定率は98.8%（平成20年度末）と高いものの、就職後3年以内の離職率は50%を超す（平成18年度末）状況で、社会人としての基礎的な能力の養成・強化が求められており、企業と連携した実践的なインターンシップの重要性が増している。

このため、本年度は昨年度の課題を踏まえ、衛生の確保、持続可能な実施体制の確立に向けたモデル事業の実施及び事業結果の検証を行うことにより、若年者の生衛業に対する職業観の向上並びに就業促進について、実効性確保の観点から後継者育成に資することを目的とする。

併せて地域雇用の確保にも期待する。

2 事業実施概要

1) 後継者育成支援協議会の設置

当指導センター及び鳥取県理容業生活衛生同業組合が実施する後継者育成支援事業の実施計画書やプログラムを協議し、モデル事業を評価するため以下の構成による協議会を平成21年7月21日に設置し、計2回開催した。

【後継者育成支援協議会の構成】

教育・学校関係者

鳥取県立鳥取緑風高等学校 教諭
鳥取県理容美容高等専修学校 校長

生衛業界関係者

鳥取県理容生活衛生同業組合 副理事長
鳥取県理容生活衛生同業組合 総務部長

行政関係者

鳥取県企画部青少年・文教課 企画員
鳥取県商工労働部雇用人材総室労働政策チーム

鳥取県生活衛生営業指導センター

理事長
合計 7名

2) 生活衛生同業組合によるモデル事業

実施計画に基づき以下のとおりモデル事業を実施。

鳥取県理容生活衛生同業組合

日 時：平成21年10月13日
場 所：鳥取市湖山町南3丁目848
鳥取県立鳥取緑風高等学校
対 象：1年生64名、夜間2～4年生8名及び教諭

3 事業実施方法の検討

1) 実施方式の選択

インターンシップは本来、学生が在学中に企業等で一定期間就業体験を行う教育制度を言う。

しかし、今回、事業に参加した理容、美容業のいずれもが客の肌に直接触れる業種で、職場体験に当たっては衛生知識等十分な準備が必要など制約が多く、多様な技術の体験が困難であることから職業体験方式を選択した。

これらの職業を目指す場合、国家資格の取得が必要で、専修学校で最低2年の専門教育が必要となること、昨年の課題解消の観点から、高校生を対象とすることとした。

2) 対象校の選定

県立、私立高校計29校の中から各校の設置学科、就職状況等を参考に校則の上で生徒がモデルとして参加できることを条件に学校側との協議を踏まえて1校を選定した。

4 事業実施状況

1) 後継者育成支援協議会

【第1回協議会】

日 時：平成21年7月13日
場 所：鳥取市末広温泉町556 白兔会館
会議内容：

- ① 平成21年度生衛業の後継者育成支援協議会設置要綱承認
- ② 理容生活衛生同業組合の事業計画説明
法規制や接客上制約があるため、学校での職業体験方式とする。
対象校を鳥取県立緑風高等学校とする。
- ③ 平成21年度後継者育成支援事業実施計画書の承認
前年度課題の解消策検討
新型インフルエンザ予防の観点から消毒の励行及びマスクの準備並びに実施日の
繰り上げ(11月から10月へ)を行う。

【第2回協議会】

日 時：平成21年11月16日
場 所：鳥取市末広温泉町556 白兔会館
会議内容：

- ① 理容組合による事業報告
鳥取県立鳥取緑風高等学校の事業を報告。
生徒へのアンケート結果、学校の意見、参加組合員の意見を紹介。
- ② 事業の評価と課題
事業関係者意見の整理。
事業の評価のまとめ。
課題の抽出。
- ③ 実効性確保に向けた今後の対応

2) 理容生活衛生同業組合によるモデル事業

① モデル事業実施に至る経過

月 日	理 容 組 合	鳥取県生活衛生指導センター
平成21年 4月3日		全国生活衛生営業指導センター から後継者育成支援事業につ いて意向照会
4月7日		各生活衛生同業組合に意向照会
5月15日	県指導センターへ実施希望回答	
5月28日		全国指導センターへ事業申請
6月8日		全国指導センターから事業委託決定通知
6月10日		県指導センターから上記通知 業界委員の推薦依頼

6月24日	業界委員の推薦	
7月21日		第一回連絡協議会開催 後継者育成支援連絡協議会設置 前年度課題の確認とプログラムの検討
8月19日	第1回理容組合打合せ	
9月2日	授業出講者全員打合せ、役割分担決定	
9月15日	鳥取県立鳥取緑風高等学校と打合せ	
9月22日	デモンストレーション担当打合せ	
9月27日	各担当リーダー打合せ	
9月29日	実習カット担当打合せ	
10月1日	エステ担当打合せ	
10月2日	カット担当打合せ	
10月6日	会場セッティング打合せ	
10月8日	全体リハーサル	
10月13日	鳥取県立鳥取緑風高等学校でモデル事業実施	
11月16日		第二回連絡協議会開催 鳥取緑風高校の事例検討

② 鳥取県理容生活衛生同業組合によるモデル事業

- ・ 日 時： 平成21年10月13日 13:00～14:00、18:00～19:00
- ・ 場 所： 鳥取市湖山町南3丁目848番地 鳥取県立鳥取緑風高等学校
- ・ 対 象： 総合学科1年生 64名、夜間部2、3、4年生8名及び教諭
- ・ 事業の位置付： 同校必須科目「産業社会と人間」の授業として実施。
- ・ 実行組織： 鳥取県理容生活衛生同業組合東部地区理容組合17名

理容生衛組合が実行組織を設置し高校生と教員を対象に自作DVD等上演、生徒及び教員をモデルにカット等のデモンストレーション、若手理容師による職業選択の動機や将来の夢をスピーチ、ウィッグを利用したカット、セット実習等を内容とする体験事業及びアンケート調査を実施。

なお、参加者全員が会場に入る段階で、アルコール消毒を実施。理容組合員は、マスクを着用。

【日 程】

時刻	進 行
12:50	学校代表、理容組合代表挨拶
13:00	デモンストレーション(モデルを使ったカット、エステの開始) DVD上映
13:12	メッセージ(理容業の魅力、夢、未来、楽しさや消毒の重要性を説明) デモンストレーション技術の紹介
13:30	生徒による体験学習 生徒全員が、ウィッグを使いカット体験を実施
14:30	質疑応答、理容組合まとめ
14:50	スタッフ全員整列し閉会

5 事業関係者の意見

1) 生徒の意見及び反応

参加生徒のアンケート結果を体験学習の前後で整理すると以下のとおりとなった。

【これまでの理容へのイメージ】

- ・ 老夫婦のおじさん、おばちゃんが髪を切っているイメージ
- ・ 理容と美容の違いが分からなかった
- ・ 簡単にできるイメージ
- ・ おじさんがパンチパーマとかあてているイメージ
- ・ 男の人専門のイメージが強かった
- ・ 美容より暗いイメージがあった

【この度の体験学習の感想】

- ・ 奥が深いと思った
 - ・ 体験実習も、見るのも面白かった
 - ・ 美容院とそんなに変わらないなと思った
 - ・ ハサミの使い方が難しかった
 - ・ 今日体験をして見て興味を持ちました
 - ・ 理容のイメージが変わった
 - ・ お客様の前では真剣にやらなければならないんだなと思った
- ・ 理容業に対する職業観については、この体験授業を通して明らかに変化していることが窺える。
 - ・ 今度の授業を受けた生徒72名中、すでに進路を決定している生徒が23名、決めていないと答えた者が48名、不明1名の状況であった。
 - ・ またこの授業を受けて、理容師に「なる」と答えた者が2名、「興味あり」と答えた者が41名、その他29名の結果となった。

以上、モデル事業に参加した生徒のアンケート結果では、従来抱いてきた職業観を変える契機となったと判断され、今後の進路として選択する者が増加することが期待できる。

2) 学校側の意見

- ・ 今回の取組みは、総合学科における原則履修の科目で、1年次生で2単位の授業の一環である「産業社会と人間」として行う授業と位置付けている。
- ・ この授業は、生徒がどのような人生を送りたいのか、そのためにどのような職業に就けばよいか、その職業に就くにはどのような学習をすればよいかを考えていく科目。
- ・ 新型インフルエンザが流行している中で実施したため、衛生指導(手指消毒)を重点的に行っていた。
- ・ 体験実習がメインにならないよう、デモンストレーションを実施しているときに理容業の魅力や、やりがい、楽しさ、社会人としての態度を考える場とした。
- ・ 生徒は、落ち着いた雰囲気の中で体験実習を行うことができた。
- ・ アンケートでは、殆どの生徒が理容師に関心を持ったと答えている。この体験実習を通し、「将来を考えるきっかけをつかんだ生徒が増えた」と担任から報告を受けており、生徒が変わるきっかけになっている。
- ・ 初めてカット用のはさみをもつ生徒も多く、「見ていたら簡単そうだが、実際やってみたら難しかった」と感じる生徒もいた。さらに、理容のイメージが変わったと感じる生徒もおり、理容業に対する理解や関心が高まったといえる。

以上、学校からは今回のモデル事業の職業教育への有効性、教育効果があったと評価された。

また、本年は新型インフルエンザの流行が予測される中、衛生対策を強化したが、学校側からは好意的に受け止められていることが分かる。

一方、事業の実施時期、については、鳥取緑風高校が2学期制であり、今回は後期開始の時期と重複した。感染症流行時期を避けたとはいえ連絡調整に若干課題を残した。

3) 参加組合員の意見

- ・ 最初は双方ともかたい雰囲気の中でスタートしたが、時間の経過とともに生徒が理容という仕事に対して興味を持ち始めてくれたという手応えを感じた。体験実習では生徒に「学ぶことの楽しさ」を伝えられたのではないかと考えている。
授業を行うことで、「理容業に対する理解」にとどまらず、「社会人として大切なこと」を伝える機会になっているのではないかと。
- ・ 社会人として私自身の経験をもとに、生徒の皆さんが社会に出る時お役にたてればと思い、メッセージテーマは就職試験とした。いつの日か、この話を思い出してくれたら嬉しく思う。
- ・ 初めて担当になった若い2人を加え4人でデモンストレーションを行ったが、生徒さんにかなり興味を持ってもらうことができ、やりがいを感じた。我々の業界の若い世代にも貴重な経験になっている。ぜひ続けたい行事。
この授業を通して、一人でも多くの生徒さんが理容師という職業に興味を持ってくれたら嬉しい。
- ・ 理容業界で活躍している女性理容師の技術力や理髪店で行っているフェイシャルエステやハンドエステ等のメニューの豊富さを知ってもらう良い機会になった。
- ・ 生徒さんが、とても真剣な面持ちで取り組んでくれて、楽しく実習カットを行うことができた。
- ・ 今回の授業は、衛生消毒に気を配っての授業となり、生徒の皆さんへの意識づけに良い効果があった。秋に行ったので、暑さ対策も不要で結果的に良い時期であった。

以上、理容組合員からは事業実施中の自らの立場や、生徒の皆さんの反応など冷静な観察が寄せられ、事業への熟度向上を感じさせた。

これと併せて、事業持続の重要性への認識も深まっていることを窺わせる結果となった。

4) 見学した他組合員の感想

- ・ プログラムは、時間配分、授業展開内容がバランスよく進行もスムーズ。
- ・ 実施にあたった理容組合の若手組合員はよくなれていて動きが円滑であった。
- ・ 日常業務を抱え、これだけ組織的な対応することは大変で、特に青年部組織が必要。

6 評価

- ・ 多様な進路選択する生徒が在籍する学校にとり、職業体験方式は非常に有効であるが、一方で多人数が対象となると組合側の負担が大きくなるため、今回は組合員数を絞る等の改善を試みた。
組合員の熟度向上も手伝って授業は昨年以上にスムーズに進行し、生徒の皆さんの反応は良く、批判的意見は見られなかった。
- ・ 実技体験、組合員による実演はいずれも生徒の興味を惹き、従来持っていた理容へのイメージを払拭したばかりでなく、多様な技術の奥深さについての理解や今後の進路決定に影響を与えていることが窺えた。
- ・ 今回実施したプログラムは、学校側との十分な協議を経て進路指導に関する学校の方針等を考慮しつつ、昨年の反省を踏まえて消毒やマスク着用を取り入れるなど衛生的側面を加味した。
新型インフルエンザの流行を背景にこれら衛生対策は容易に理解されたと判断される。
- ・ 業界の取組みを学校では授業と位置づけるなど、連携も深まり職業教育の1メニューとして定着しつつある。
- ・ 事業参加した若い組合員の熟度が向上し、事業の持続性確保に向けた可能性が高まるとともに、今後の組合活動に対してもよい効果が期待できる。

7 課題

- ・ 本事業が参加生徒の進路決定に与える効果については、今回のアンケート結果をみる限りかなり有効と判断され、事業の持続的な実施が求められる。
- ・ 理容師になるためには厚生労働大臣の免許が必要であるが、受験資格取得のために認可された養成施設の理容科入学者数は全国的に減少傾向が続いており、県内養成施設においても、卒業生の数は近年非常に少ない状況が続いている。
- ・ 今回のような職業教育を経験した生徒の皆さんが、この養成施設に入学するかについては、事業の継続と並行し進路選択の結果を追跡する必要がある。
- ・ このモデル事業の目的は生衛業の後継者の確保に繋げることにあり、事業が一過性とならないよう持続することが重要であるが、一方で生徒の皆さんが進路決定し、職業選択に至るまでの過程には様々な要因がある。
とりわけ、地域の養成施設では理容科の卒業生の数が長期減少傾向にあり、この回復を図ることが理容業の後継者育成にとって非常に重要な要素といえる状況となっている。
- ・ このため、後継者育成事業の実効性確保に当たっては今後、事業を行う組合はもとより、養成施設や体験授業を受け入れる学校の緊密な連携が求められる。

参 考 资 料

理容体験学習授業プログラム(80分コース)

- 1 日 時 平成21年10月13日(火)・12時50分
- 2 主 催 鳥取県理容生活衛生同業組合
- 3 協 賛 鳥取県立鳥取立緑風高等学校
- 4 対象者 鳥取県立鳥取立緑風高等学校1年生
- 5 総合プロデュース：鳥取県理容生活衛生同業組合講師、青年部
- 6 スケジュール

12:50 授業スタート

理容界最新ニュース
映像DVD放映

会場に入るとき、生徒・先生に手指消毒をしてもらう。

- 13:10 未来ある理容業について(メッセージ)
(メッセージのなかで消毒の大切さもアピールする。)
緑風学校側代表挨拶、鳥取理容組合支部長挨拶
- 13:15 デモスト(カット、セット、エステシェーブ、ネイル等)
デモスト担当は消毒して仕事に入る。
- 13:35 体験実習(モデルウィッグ(人形)でカットの楽しさを体験してもらう。)
実習の前に生徒全員に消毒をもらう。
- 13:55 アンケート記入及び感想を聞く。
- 14:10 終了

閉会

H21理容体験学習授業打合せ記録（鳥取緑風高等学校）

8月19日（水） ヘアーサロン鳥取 8:00~10:00

第1回授業打合せ

教育部（県講師）、青年部長に来てもらいこの度の授業の目的（主旨）・内容・準備の進め方等の確認をする。（前田・辰己・水元・岡・山内）

9月2日（水） 鳥銀文化会館 8:00~10:00

事業出講者全員で打合せ

出講者全員に来てもらい授業の目的・授業内容・準備の進め方の確認をし、各担当リーダー（司会・メッセージ・カットデモスト・エステデモスト・実習カット・会場セッティング）を決める。（出講者全員17名）

9月15日（火） 鳥取緑風高校 11:00~

デモスト担当、モデルと打合せ

デモスト担当が高校まで出向きモデルになってくださる生徒、先生とヘアスタイル・技術内容等の打合せをする。（担当 徳持先生）
（前田・水元・永江・野島・山下）

9月22日（火） 辰己サロン 8:00~10:00

デモストエステ担当打合せ

エステ技術の内容を決めてトレーニングをする。（フェイシャルエステ・ハンドエステ）
（辰己・出口・松岡）

9月27日（日） ヘアーサロン鳥取 8:00~10:00

各担当リーダー最終打合せ

各担当の準備状況の確認をし、授業当日までの最終チェックをする。
（前田・辰己・水元・中居・山内・岡）

9月29日（火） ヘアーサロン鳥取 8:00~10:00

実習カット担当打合せ

実習カットのマニュアルを作成し、挨拶の仕方・カット技法等を確認する。

10月1日（木） 辰己サロン 8:00~10:00

デモストエステ担当打合せ

エステ技術のトレーニングをし、最終確認をする。
（辰己・出口・松岡）

10月2日（金） ヘアーサロン鳥取 7:30~10:30

デモストカット担当、仕込み

デモストモデルになっていただき生徒、先生に来ていただきパーマ・カラー等の仕込みを実施する。（引率 徳持先生）
（前田・山内・水元・永江・山下・野島）

10月6日（火） ヘアーサロン鳥取 8:00~

会場セッティング打合せ

会場リーダーと授業当日に必要な器具・材料等の最終確認をする。
（前田・中居）

10月8日（木） パレットとっとり 8:00~10:00

全体リハーサル

出講者全員で司会を中心に授業で行う一通りの流れを行い、チェックし、授業の主旨・目的を確認する。（出講者全員 17名）

10月13日（火） 授業を実施する。

Q. 1 学年

1年:64人 2年:4人 3年:3人 4年:1人 計72人

Q. 2 性別

男:37人 女:35人

Q. 3 あなたのご親戚に理容関係の方はいますか？

はい 10人 いいえ 62人 美容 0人

Q. 4 あなたは進路を決めていますか？

はい 23人 いいえ 48人 その他 1人

Q. 5 この度の授業を受けて理容師に・・・

なる 2人 興味あり 41人 その他 29人 (無回答含む)

Q. 6 これまでの理容へのイメージ

- ・ただ髪を切る人
- ・才能のある人しかねない
- ・キザっぽいとかカリスマ (笑) という感じでした
- ・老夫婦のおじさん、おばちゃんが髪を切っているイメージ
- ・きれいでフォーマルなイメージ
- ・理容と美容の違いが分らなかった
- ・簡単にできる仕事
- ・ボサボサ
- ・面白くアレンジができて楽しい
- ・オジさんがパンチパーマとかあててるイメージ
- ・ものすごくキレイ好き
- ・簡単に髪を切ってる、明るく元気な方々
- ・プロ、きれい、かっこいい
- ・サラリーマンの髪を切り、刈り上げのイメージ
- ・男の人専門のイメージが強かった
- ・フレンドリーでいい人
- ・お客さんの注文通りにヘアスタイルを変えていく人
- ・美容よりも暗い感じがあった。でも、髪も盛ったり、ワックスでやったりして華やかだと思った。
- ・理容って何ぞや？

Q. 7 この度の体験学習の感想

- ・意外と難しかったしよく分らなかった
- ・雰囲気良かった
- ・奥が深いと思った
- ・体験実習も、見るのも面白かった
- ・美容院とそんなに変わらんだなあって思った
- ・普段自分じゃない髪型にしたので新鮮 (デモストモデル)
- ・足がだるかった
- ・松岡さん、中居さん、ありがとうございました。他の皆さんも、またどこかで会えることを願います。
- ・ハサミの使い方が難しかった。ハサミの値段が高いのにビックリした。今日、体験してみて興味を持ちました。本当にありがとうございました。
- ・お客さんを目の前では真剣にやらなければならないんだなと思いました
- ・髪の毛を切られたマネキンはかっこよかった
- ・髪を切れなかったけど楽しかった
- ・もう一回やってみたい
- ・優しく教えてくださってありがとうございました
- ・理容師の方々も美容師の方々もカッコよくて、人の髪を切ってる時も楽しそ

- うに切っていて、自分も体験してすごく楽しかった
- ・理容のイメージが変わった
 - ・めっちゃ気持ち良かったです！！貴重な体験をさせていただきありがとうございました。モチモチになってテンション上がりました！（エステモデル）
 - ・ハサミで手を切りそうで怖かったのと、髪の間からのぞくマネキンの顔が少しです。

Q. 8 理容店への要望

- ・これからも頑張ってください
- ・手の角質を落とすクリームが欲しい
- ・要望では無いけど、理容店がもっと浸透していけばいいな一と思いました
- ・雰囲気が苦手
- ・髪の毛が傷んでいるのですっきりしたい
- ・今度行きます

鳥取県立鳥取緑風高等学校モデル事業実施状況写真



会場入り口に消毒液を配置、参加者全員に消毒をしていただきました



受講生徒の皆さんに、スタッフからのメッセージです



生徒さんをモデルにして、デモンストレーションです
髪型は事前に本人と打合せ、準備万端



生徒の皆さんがウィッグとプロのハサミを使って体験実習



生徒の皆さんがウィッグとプロのハサミを使って体験実習



班に分かれて全員が体験できるよう工夫しました



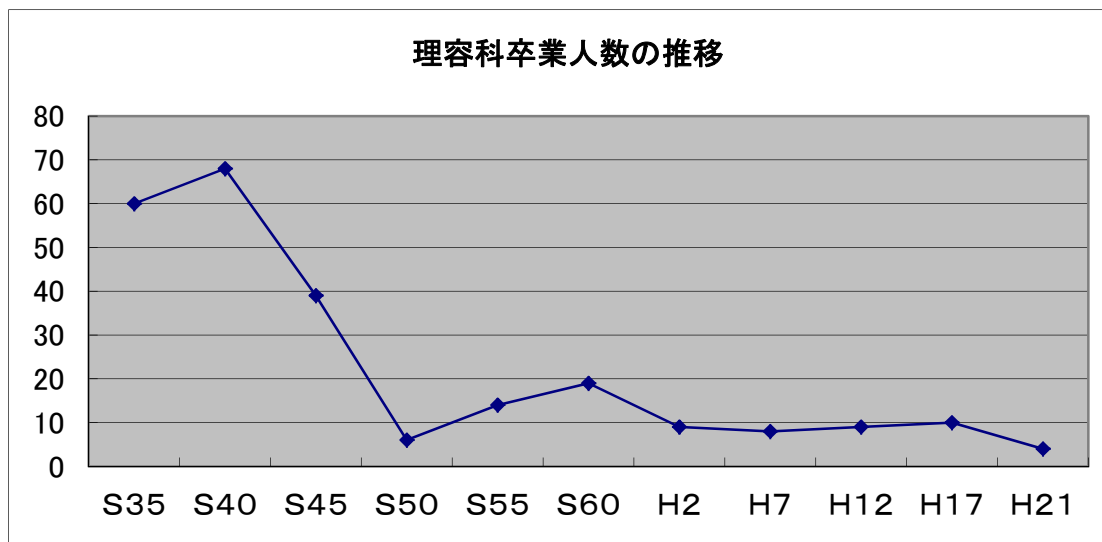
スタッフ一同が揃って生徒の皆さんに最後のご挨拶です



夜間の部も実施しました。

鳥取理容美容高等専修学校の理容科卒業生(昼間)推移

年 度	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21
卒業人数	60	68	39	6	14	19	9	8	9	10	4



※このデータは、鳥取理容美容高等専修学校から提供いただいたものを指導センターで加工した。